

はじめに

あたしは2007年から3年半の間、生活保護を利用していました。利用し始めた2007年当時の生活保護利用者は161万人でした。

それから3年半の間にさらに30万人以上が生活保護を利用し始め、そして、2012年11月現在では212万人が生活保護を利用するに至っています。

これは「怠け者」が増えたから？

いいえ、そうではありません。

この本では、生活保護利用者の日々の暮らし、その中での悩み、そしてささやかな希望も書きました。

しかし、ここで紹介できたことは212万分の1でしかないあたしの、本当にささやかな暮らしの一部です。

今年2012年は激しい生活保護バッシングがありました。その中で、DV被害者でもあるあたしが、この本を書くことは大変に怖いことでもあり、勇気がいりました。

けれども、あたしは生活保護を利用している者の暮らしの実態を、もっとちゃんとわかってほしい、利用者の声を聞いてほしいと、ずっと思い続けてきました。

生活保護制度について、また、生活保護利用者について、様々なご意見があることはよくわかっています。

でも、誤解されたままで批判されたくはないのです。だから、「今書かなければ、一生後悔する」そんな気持ちで書きました。

生活保護利用者は怠け者ではありません。

生活保護制度は人間をダメにする制度でもありません。

どうぞあたしたちの日常を、この本を手にとってのぞいてみてください。

2012年11月 和久井みちる